

2021年12月2日

FIE 用具規定(m)の変更に伴う大会の適用について(補足)

公益社団法人 日本フェンシング協会
ル ー ル ・ 審 判 委 員 会

2021年全日本選手権大会(個人戦)以降、(公社)日本フェンシング協会主催大会及びシニアFJ Eポイント大会においてはF I E用具規定に則り、下記規定を適用する。

※一部大会(ジュニア・カデ・ミニム等)については当該大会の要項に準ずる。

※今年度の第29回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会は適用対象外としたが、来年度からは適用する。

<シニアについて>

用具規定【最新のFIEルールを適用】

- FJ Eポイント対象大会
- 全日本選手権大会(個人戦・団体戦)
- 国民体育大会(国民スポーツ大会)

※ジュニア及びカデの選手が上記の大会に出場する場合、用具規定はシニアの用具規定が適用されるが、ブレードについては従来のブレードも使用可能とする

<ジュニア・カデについて>

用具規定【2022年1月1日から適用】

※ブレードを除く

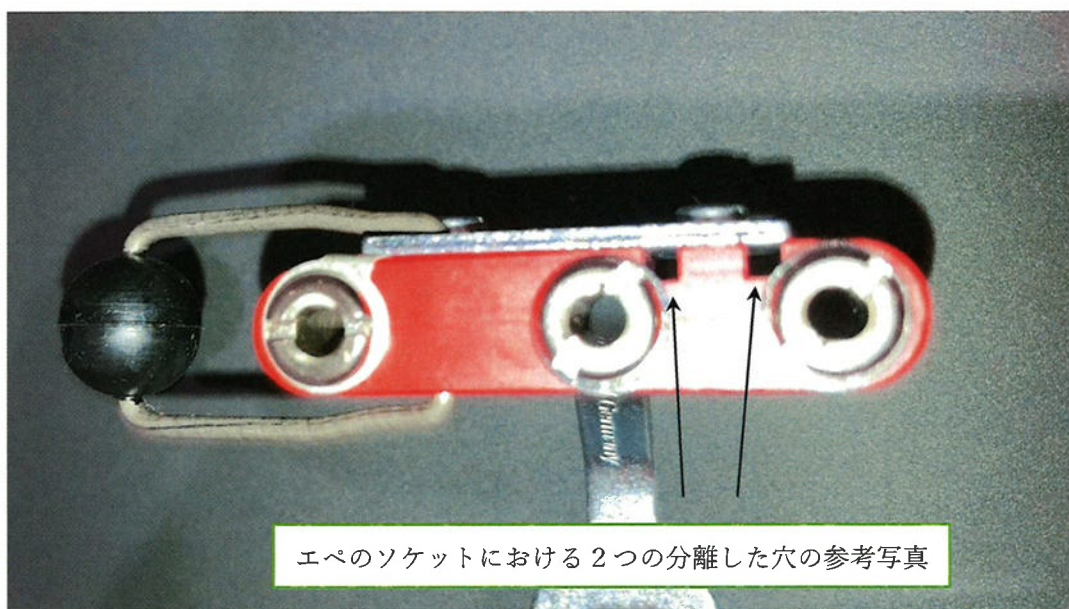
- FJ Eポイント対象大会
 - ・ユニフォーム(上下) 350N以上またはFIE公認マーク付き(800N)
 - ・半袖プロテクター FIE公認マーク付き(800N)
 - ・マスク FIE公認マーク付き(1600N)
 - ・サーブルクローブ FIE公認マーク付き(800N)
 - ・ボディコード FIEルール
 - ・エペソケット FIEルール

<ミニムについて>

用具規定【当該大会の要項に準ずる】

【別添1】

- 1、全ての種目において、マラジン剣（マル・エージング鋼ブレード）の使用を義務付ける。（FIE 用具規定 m. 2 参照）
- 2、エペのガード内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようになる。（FIE 用具規定 m. 18.3 参照）
- 3、ボディワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディワイヤーのプラグに装備されてなければならない。（FIE 用具規定 m. 29.1.b 、 m. 31.2 参照）



【別添2】

〈サーブルのブレードについて〉

2021年11月12日現在

使用可能なブレードは以下の通りです（参考）

●東京フェンシング商会

品番・品名：3057 マラジン TF

●東京フェンサーズ

品番・品名：316 レオンポール APEX FIE サーブルブレード

●KFE

品番・品名：S0705U ウルマン/PBT FIE サーブルブレード

品番・品名：SB0017 フランチャーニ FIE サーブルブレード

※上記以外のブレードの場合、「FIE」、「M」または「Maraging」のいずれかの刻印があること。

※エペ及びフルーレのブレードは、「FIE」の刻印があるブレードを使用すること。

※ルール・用具等についてご質問がありましたら、下記のルール・審判委員会アドレス ルール育成部会笹田まで、ご連絡ください。

メールアドレス：rule.referee@fencing-jpn.jp